

令和5年度事業報告（令和5年4月～令和6年3月）

1 法人運営事業

（1）組織の強化

－財源の確保－

＜会員募集＞

- ・賛助会員に対し会員継続、会費納入を依頼
- ・広報紙ゆうあいに掲載記事を掲載、新規会員の増加を図る

＜その他＞ 組織構成会員に協力依頼

※参考 登録賛助会員数（令和6年3月末）

法人賛助会員30団体・個人賛助会員173名

（2）各種会議の開催

ア 理事会

開催年月日	主 な 内 容
令和5年 6月 7日	①令和4年度事業報告、決算報告(案)及び監査報告について ②理事・監事候補者の推薦（案）について ③評議員候補者の推薦について ④評議員選任・解任委員会の開催について 他
令和5年 6月27日	①会長・副会長の選任について ②評議員選任・解任委員会委員の選任について
令和5年12月14日	① 令和5年度上半期事業報告について
令和6年 3月17日	①積立資産名称及び積立目的（使途）並びに資金の整理について ②令和5年度補正予算（案）について ③令和6年度事業計画（案）、収支予算（案）について ④規定等の一部改正（案）について 他

イ 評議員会

開催年月日	主 な 内 容
令和5年 6月22日	①令和4年度事業報告、決算報告(案)について ②理事・監事の選任について
令和6年 3月27日	①積立資産名称及び積立目的（使途）並びに資金の整理について ②令和5年度補正予算（案）について ③令和6年度事業計画（案）、収支予算（案）について 他

ウ 評議員選任・解任委員会

開催年月日	主 な 内 容
令和5年 6月 8日 (書面開催)	①評議員の選任について

エ 善意銀行運営委員会

開催年月日	主 な 内 容
令和5年 6月 7日	①福祉ボランティア活動応援資金の払出(案)について 他

オ 地区社会福祉協議会会長連絡会

開催年月日	主 な 内 容
令和5年10月 5日	①ゆうあいフェスティバルの開催について ②「つながり情報交換会」の開催について ③区社協ホームページのリニューアルについて ④令和5年度大阪市社会福祉大会について ⑤高齢者月間事業にかかる金婚ご夫妻および百歳高齢者へのお祝い品の贈呈について(報告) ⑥情報交換

カ 地区募金会理事会(役員会)

開催年月日	主 な 内 容
令和5年5月 18日	①理事の選任について ②令和4年度共同募金について ③令和4年度共同募金決算報告並びに会計監査報告について
令和5年9月 11日	①令和5年度赤い羽根共同募金運動について ②戸別募金の日程・資材の送付について ③街頭募金の実施について

キ 社会福祉施設連絡会（天王寺区内 21 施設対象）

開催年月日	主 な 内 容
令和5年5月 19日	運営委員会（出席者 4 名 事務局 5 名） ①人事異動に伴う役員（副会長）の交代について ②運営委員について ③令和 4 年度 事業報告について ④令和 5 年度 事業計画について①理事の選任について
令和5年6月 14日	総会（出席者 12 名 事務局 5 名） ①人事異動に伴う役員（副会長）の交代について ②運営委員について ③令和 4 年度 事業報告について ④令和 5 年度 事業計画（案）について ⑤天王寺区ボランティア市民活動センター運営委員について
令和5年8月～ 令和6年2月	研修会（全 5 回） 参加施設：4 施設 内容：「BCP 事業継続計画作成」 講師：KZ総合防災企画 代表 黒田和伸氏
令和5年10月 2日	共同募金 街頭募金活動への協力（高津学園・四恩学園）
令和5年10月 3日	共同募金 街頭募金活動への協力（高津学園・四恩学園）
令和5年10月～ 12月	共同募金 募金箱設置の協力 （子ども・子育てプラザ、老人福祉センター）
令和5年10月13日	天王寺小学校 福祉教育への協力（家内労働センター）
令和5年11月 8日	YMCA学院高等学校 福祉教育への協力（家内労働センター）
令和5年11月23日	ゆうあいフェスティバル 参加施設：11 施設 内 容：作品展示、模擬店、遊びコーナー
令和6年 2月14日	「一水会」・区社会福祉施設連絡会合同学習会 （参加者 5 名 事務局 5 名） 内容：「社会福祉施設の公益的な取組みの推進」 講師：ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎国広氏
随 時	その他 ・メーリングリストを作成し、地域住民や団体からの寄付の情報、区役所・地域からの各種情報、助成金についての情報などの発信 ・施設と各種団体との連携支援

(3) 広報・啓発・調査活動の推進

ア 広報活動

(ア) ・区社協だより「ゆうあい」の発行 (No.73、74、75)

・発行日 7/31 (No.73)

10/31 (No.74)

1/31 (No.75)

・発行部数 52,000部 (天王寺区内全戸配布)

3,000部 (区社協納品)

(イ) ホームページやSNSの活用

新着情報の更新及びホームページ内フェイスブック、公式ラインを活用した、タイムリーな情報提供。

イ 啓発活動・啓発物品の作成

(ア) 啓発活動

8/21 『ボッチャ審判員養成講座』(区民センター)

・啓発チラシ及び物品等配布

9/8 『地域福祉映画会「桜色の風が咲く」』(区民センター)

・啓発チラシ及び物品等配布

11/23 『ゆうあいフェスティバル』(天王寺区在宅サービスセンターゆうあい)

・啓発チラシ及び物品等配布

3/23 『こどもの居場所シンポジウム2024～地域とともにあるこどもの居場所を考える～』(区民センター)

・啓発チラシ及び物品等配布

3/25 ドリームデイ・アット・ザ・ズー

・啓発チラシ及び物品等配布

(イ) 啓発物品の作成 エコバック 300個

卓上カレンダー 850冊

ショルダーボトルホルダー 320個

(4) 在宅福祉サービス事業の実施

ア 車椅子貸出事業 (通院・旅行等の外出、在宅で使用等)

車椅子貸出件数… 171件 (車椅子と一緒にレインコートを貸出… 33件)

イ 福祉用具等貸出事業

・ボッチャ用具… 6件

・モルック… 5件

・高齢者疑似体験セット… 1件

ウ ゆうあい杖給付事業 (歩行困難者で希望者へ配布)

給付件数… 16件

(5) 高齢者福祉事業

- ア 金婚ご夫妻へお祝い記念品「夫婦扇子」を贈呈 27組
＊お祝い記念品の「夫婦扇子」は、和宗総本山四天王寺様からのご寄贈
- イ 高齢者福祉月間運動の推進
 - ・百歳高齢者お祝い訪問 ※訪問せずお祝い品を郵送
満百歳を迎えた高齢者 23名
区長・区社協会長より、国・区社協からのお祝い品を贈呈
お祝い品 区社協より・・・・・・今治製 白織タオル
(参考) 国(厚生労働省)・・内閣総理大臣祝状・銀

(6) 職員の育成にかかる研修会等の実施

- ア 職員全体研修「包括的な支援体制の構築に向けた社協の役割」6月 46名
- イ 職員全体研修「コンプライアンス研修」2月 46名
- ウ コミュニティワーク研修 5/26 2名
- エ 人権研修「子どもの人権について」8/24～8/31 35名
「カスタマーハラスメントへの対応」9/29 1名
「障がい者の意思決定支援と虐待について」12/19～25 13名
「多様な働き方・就労と人権について」1/25～31 5名
「SNS と人権について」2/22～29 5名

(7) 防災にかかる取り組み

- ア 防災検討会の実施
区役所の協力も得ながら、大規模災害に備え区社協全
部門の職員が参加し、各種危機管理関係の検討会及び
研修会を定例実施している。
令和5年度は10回開催。(内、8回はアドバイザー
による講義・助言他)
また、区や市社協と災害対策本部訓練・災害ボランテ
ィアセンター設置運営訓練を実施した。



2 社会福祉事業

(1) 実施事業

- ア 障がい者スポーツ「ボッチャ」その他への協力
- ・ボッチャ審判員養成講座 参加者：48名
 - ・真田山、味原、五条で開催されたボッチャ大会へ参加
 - ・天王寺区ボッチャ&レクリエーションの開催 3/25
(自立支援協議会地域支援部会主催)
- イ 地域福祉啓発に向けた支援
- ・9/8 地域福祉映画会開催「桜色の風が吹く」上映
参加者：194名
- ウ 各地区子育て支援サークルへの支援・協力
- エ ジュニアクラブ関係事業への支援・協力
- ・運営委員会 4回 5/16、8/1、10/5、1/19
 - ・運営委員会事務局会議 4回 5/11、7/28、10/3、1/15
 - ・5/28 「天王寺の歴史にふれよう！～徳川家康と天王寺～」
 - ・8/17 「天王寺図書館を探検しよう！～図書館司書の仕事を知ろう～」
 - ・10/29 「ボッチャを体験しよう！～みんなでできるスポーツを学ぼう～」
 - ・12/2 「天王寺区大阪市立中学校合同文化祭で運営スタッフをしよう！」
 - ・2/4 「いろんな国の遊びを楽しもう！～留学生と国際交流～」
- オ 子育て愛あいフェスティバル事業への支援・協力
- ・実行委員会 2/20
 - ・子育て愛あいフェスティバル 6/24
- カ 天王寺動物園「ドリームデイ・アット・ザ・ズー」への支援・協力
- ・動物園職員向け福祉教育 3/11
 - ・参加ボランティア向け事前勉強会 3/11
 - ・ドリームデイ・アット・ザ・ズー 3/25

(2) 区地域福祉活動支援事業

ア 気づけるランド～災害時の支援を考える～

地域ボランティア・住民を対象に、災害時における要配慮者への支援を考えるとともに、普段から取り組めることについて学ぶ。

- ・ 12/16 気づけるランド①
～災害ボランティアセンター
運営ボランティア養成講座～
- ・ 1/16 気づけるランド②
～災害ボランティアセンター体験～



イ 地域サロンボランティア連絡会・研修会

地域の喫茶・食事サービス等で地域ボランティアとして活動されている方の情報交換の場やサロン活動に役に立つ研修等を実施

- ・ 6/30 ・「相談支援機関まるごと早わかりファイル&宮城発 防災すごろく助け合ってご～！」
- ・ 8/31 ・「見守り協力者・サロンボランティア合同研修会」
 - ・ 第1部 「つながりワーカーの集い」 オンライン研修
 - ・ 第2部 「失敗はためになる！やりとげ体操&レク」
- ・ 2/2 ・「第2回つながり情報交換会、サロンボランティア連絡会合同研修会」

ウ 地域のこども支援ネットワークづくり

こどもの居場所、こどもの研修会に参加し、天王寺区内での支援に向けた情報収集を実施。

＜こどもの居場所連絡会の開催（3回）＞

- ・ 4/27 「第1回こどもの居場所連絡会」
 - ・ 新団体のご紹介及び各団体の自己紹介と近況報告
 - ・ 令和4年度の振り返り
 - ・ 令和5年度の計画(案)について
- ・ 10/26 「第2回こどもの居場所連絡会」
 - ・ 各団体の自己紹介と近況報告
 - ・ 活動団体からの発表、質疑応答、意見交換
 - ・ グループワーク
 - ・ 今年度のこどもの居場所シンポジウムについて
 - ・ ゆうあいフェスティバルについて
 - ・ 新年度版のこどもの居場所リーフレットの作成について
- ・ 12/21 「第3回こどもの居場所連絡会」
 - ・ 各団体の自己紹介と近況報告



- ・ 自立支援協議会こども部会について
- ・ 「こどもの居場所シンポジウム 2024」 の開催について
- ・ こどもの居場所リーフレットについて
- ・ 情報交換

<こどもの居場所シンポジウムの開催>

- ・ 3/23 「こどもの居場所シンポジウム 2024
～地域とともにあるこどもの居場所を
考える～」
(75人参加 地域住民：67人、関係機関：
3人、連絡会メンバー：5人)



<こどもの居場所リーフレットの作成>

- ・ 令和3年度に作成した「こどもの居場所 コドモノミカタマップ」を新規加入団体の増加に伴い、リニューアルを行い、新たに作成シンポジウム参加者、民生委員、区内関係機関へ配付。作成部数 3,000 部



- エ 認知症サポーター養成講座の開催（定例・出前講座）
認知症に関する正しい理解を広げるため、一般向けに定例講座と出前講座を開催した。（詳細は、2 社会福祉事業(5)福祉教育支援事業に記載）
- オ 「キャラバン・メイト定例会」の開催 6 回開催
認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトの方々が集まり、連絡会を開催した。
内 容 ・ 認知症サポーター養成講座の実施について
・ 意見交換、活動報告等
・ その他
- カ 「天王寺区ロバの会」（平成22年4月1日発足）への支援
認知症サポーター養成講座修了者の有志が集まり、認知症に関する学習を重ねて、天王寺区内の認知症の方やその家族が安心して生活できるよう、心に寄り添うボランティアの会として結成された。今年度は定例会を5回開催し、これまでのふり返りと今後に向けての方向性を検討した。

- キ 「いきいき広場」の実施 各地域で、毎月1～4回実施
平成29年度より高齢者の閉じこもり等による生活の不活発を予防し、要支援・要介護状態への変化を少しでも遅らせるために、各地域とともに地域における集いの場として「いきいき広場」を実施している。

実施場所：各地域の会館

実施内容：「いきいき百歳体操」と地域が行うプログラムを実施。

各地域と共催して、前半はいきいき百歳体操を行い、後半は地域のニーズに合わせたプログラムを実施している。

- ク 認知症サポーターフォローアップ講座の開催
認知症サポーター養成講座を修了された方を対象に、今年度は「認知症の人の気持ちを知ろう～ふれあって考えてみよう私たちに出来ること～」をテーマとし、認知症対応型デイサービスを見学。
利用者の方々の様子や職員の方々の対応を通して、認知症の人の暮らしを支えることや、認知症の人の接し方と対応方法について考えた。



- ケ つながり通信の発行
さまざまな情報を届けるために「つながり通信」を2か月に1回のペースで発行し、情報を発信した。

- コ 経済的またはつながりの貧困になっている方への支援

- ・日用品&フードドライブ

社協1階に専用のボックスを設置し、家庭で使いきれない未開封の食品や日用品、企業の余剰品等を対象として集め、福祉団体やこどもの居場所等、必要とされている方へ届ける活動を実施。

- ・ライフ&フードパントリー

4月、5月の最終土曜日に、企業や団体や地域の方からの寄付物品（食品・日用品等）をコロナ禍で困窮している世帯へ届ける取組みを実施。会場では個別相談にも対応。

- ・玉造日之出通南商店街フードパントリーへの協力（偶数月の第2月曜日）

(3) 福祉教育支援事業

ア 区内各学校・地域等における福祉教育支援（認知症サポーター養成講座等）

	日 時	受 講 団 体 等	人数
1	5. 5. 24	定例 認知症サポーター養成講座	18 名
2	5. 6. 27	天王寺区女性会 学習会 認知症サポーター養成講座	63 名
3	5. 6. 29	大阪国際福祉専門学校福祉教育 (社会福祉協議会・地域包括支援センターの役割)	15 名
4	5. 7. 8	四天王寺学園・清風学園インターアクトクラブ (赤い羽根共同募金・社会福祉協議会について)	30 名
5	5. 7. 10	大阪区民カレッジ 認知症サポーター養成講座	39 名
6	5. 7. 11	定例 認知症サポーター養成講座	10 名
7	5. 9. 15	夕陽丘中学校福祉教育 (当事者の講話、車いす体験、アイマスク体験)	191 名
8	5. 9. 19	天王寺中学校福祉教育 (当事者の講話、車いす体験)	150 名
9	5. 9. 30	定例 認知症サポーター養成講座	17 名
10	5. 10. 13	天王寺小学校福祉教育 (ボッチャ体験)	90 名
11	5. 11. 8	YMCA 学院高等学校福祉教育 (ボッチャ体験)	43 名
12	5. 11. 9	定例 認知症サポーター養成講座	17 名
13	5. 11. 27	保健福祉センター講座受講者 認知症サポーター養成講座	15 名
14	5. 12. 8	天王寺小学校福祉教育 (当事者の講話、車いす体験)	90 名
15	6. 1. 19 6. 1. 22	真田山小学校福祉教育 (当事者の講話、車いす体験)	170 名
16	6. 1. 19	大阪国際福祉専門学校 認知症サポーター養成講座	49 名
17	6. 1. 25	天王寺小学校福祉教育 (聴覚障がい者と聴導犬の講演)	13 名
18	6. 1. 26	定例 認知症サポーター養成講座	21 名
19	6. 2. 13 6. 3. 12	認知症サポーターフォローアップ講座	8 名
20	6. 2. 29	生魂小学校福祉教育 (当事者の講話、車いす体験)	60 名



（４）地域福祉コーディネーター事業

住民の身近な相談窓口として、地域の会館で様々な福祉相談にのり、適切な関係機関につなぐパイプ役である地域福祉コーディネーターを各地域に設置し、要援護者や独居高齢者等の見守り活動、気になる人の早期発見など、民生委員や地域団体とも連携し活動する事業として令和５年度から本会が区から受託し事業実施している。

令和５年度は、４地域をモデル地区として設定し、コーディネーターの設置及び相談事業を開始するとともに、コーディネーターの連絡会を開催した。

ア 地域福祉コーディネーター設置地域

天王寺地域、聖和地域、五条地域、桃陽地域

イ 地域福祉コーディネーター連絡会の開催（３回開催）

第１回 令和５年１１月１６日

第２回 令和６年１月２６日

第３回 令和６年３月１９日

（５）ボランティア・市民活動センターの運営

ア ボランティア需給調整事業

（ア）ボランティア登録者数（令和６年３月末現在）

・個人登録 ５０人（令和５年度新規登録者 ３人）

・グループ登録 ３１団体（令和５年度新規登録 ３団体）

（イ）ボランティア活動に関する相談・対応件数

相談・対応の内容		
	登録及び需給調整	４２件
	活動紹介・活動支援	１２件
	交流会・学習会・定例会の開催と参画	７件
	グループ活動に関する相談・調整	１８件
	ボランティア応援資金・助成金の対応	２件
	ボランティア養成講座等の開催と参画	２９件
	ボランティア保険について	７９件
	その他	２件
合 計		１９１件
☆ボランティア・市民活動センターにおける活動実績		
８団体 計１９３回 延べ１１５７人		

(ウ) 登録団体の支援

1	学齢期の進路について ～特別支援学級と特別 支援学校～ 主催：つぼみの会	日 時 令和5年6月1日（木） 午前9時45分～11時50分 場 所 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講 師 深草 武志氏（公認心理士・特別支援教育士） 野崎 善之氏（キャリアコンサルタント） 参加者 29人
2	子どもの育ちと一緒に 考えよう 主催：つぼみの会	日 時 令和5年6月21日（水）午前10時～正午 場 所 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講 師 山根 章子氏 （大阪芸術大学短期大学部保育学科 特任教授） 参加者 16人
3	伊丹昌一先生 個別相談会 主催：つぼみの会	日 時 令和5年7月24日（月）午前10時～正午 場 所 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講 師 伊丹 昌一氏 （梅花女子大学心理こども学部心理学科教授） 参加者 6人
4	伊丹昌一先生 個別相 談会 主催：つぼみの会	日時 令和6年1月8日（月）午後1時～3時 場所 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講師 伊丹 昌一氏 （梅花女子大学心理こども学部心理学科教授） 参加者 6人
5	障がい者が働くという こと 主催：つぼみの会	日 時 令和6年1月18日（木）午前10時～正午 場 所 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講 師 大阪市障がい者就業・生活支援センター 主任・生活支援ワーカー 長谷川 かよ氏 就業支援ワーカー 植木 大輔氏 就業支援ワーカー 松田 雅美氏 参加者 20人
6	伊丹昌一先生講演会 ライフスキルを高める 工夫 主催：つぼみの会	日 時 令和6年3月9日（土）午後2時～5時 場 所 大阪市立社会福祉センター 3階第1会議室 講 師 伊丹 昌一氏 （梅花女子大学心理こども学部心理学科教授） 参加者 79人

(エ) 啓発事業

- ・ ゆうあい ボランティア通信の発行
6 回発行 1 回につき約 1 9 0 部送付
関係機関・団体、ボランティア登録者に発送及びボラセン内掲示など
内容は各種ボランティアに関する情報や各種講座・イベントの紹介など
- ・ ボランティア活動情報誌「COMVO」へのチラシ等挟み込み及び地下鉄駅への配架（大阪メトロ谷町線「谷町九丁目」駅）
- ・ 各種ボランティア活動情報の広報
ホームページやフェイスブックでの広報、パンフレット・チラシ等の窓口設置、地域の各行事などでの告知・チラシ配布など

(オ) その他の事業

- ・ ボランティアグループ支援活動
各種ボランティアグループの活動支援
登録ボランティアグループの定例会・行事・講演会などへの支援
- ・ ボランティア保険の受付
ボランティア活動保険（受付件数：66 件、加入総数：403 人）
ボランティア活動行事保険（受付件数：257 件、加入総数：12, 112 人）
その他 各種保険（受付件数：4 件、加入総数：20 人）
- ・ 福祉ボランティア活動応援資金の受付
5 グループに交付した。（助成金額：150, 000 円）

イ「ゆうあいフェスティバル2023～WAHAHA でつながろうふれあいの輪～」の開催
新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、4年ぶりの開催となった。コロナ禍により活動機会が減っていた中で、久しぶりにボランティアや福祉団体の活躍の場となり、ボランティアと各団体がつながり、またこどもから高齢者までの多世代が交流できるきっかけとなった。

開催日時：令和5年11月23日（木・祝） 午前11時～午後3時

開催場所：天王寺区在宅サービスセンター「ゆうあい」

内 容：登録ボランティア（団体・個人）によるパフォーマンスステージ
福祉団体による軽食（ハムカツ、スナック等）及び物品の販売
本人交流会による焼き芋販売
子どもあそびコーナー
区内の保育園児による絵画の展示
防災カレーライスの試食
タオル体操
ボランティア団体紹介コーナー



ウ ボランティア・市民活動センター運営委員会

地域の役員や学識関係者並びに施設関係者、企業やボランティアグループの代表など様々な方々を運営委員に迎え、天王寺区内のボランティア活動が活性化するように、天王寺区ボランティア・市民活動センターの現状や課題及び今後について話し合った。

第1回 令和5年6月16日（金）

第2回 令和5年10月6日（金）



エ 天王寺・おもちゃ病院ドクター養成講座

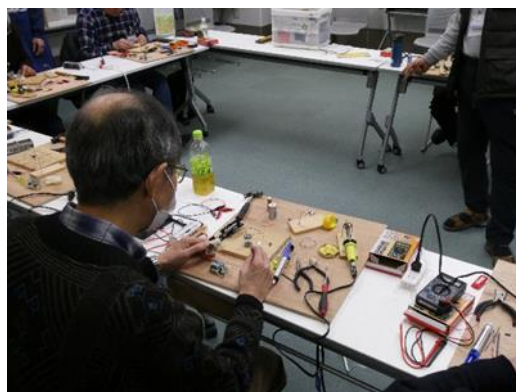
おもちゃの修理に必要な知識や工具の使い方を学んだ。

令和6年4月より天王寺区子ども・子育てプラザにて、
てんのうじ・おもちゃ病院を開院した。

開催日時：令和6年2月10日（土）10：00～15：00

参加者数：16名

実際にドクターの登録に繋がった数：12名



（6）善意銀行の運営

区民等からの預託（金銭・物品）を受け、申込があれば審議のうえ払出（活用）を行う。

ア 金銭預託・払出

○預託件数 2件

預 託 者	預託金額（円）
大阪市コミュニティ協会天王寺支部 2件	75,968円

○払出件数 1 件（1 団体）

払出先（グループ名・団体名）	金 額（円）
天王寺区子ども会育成連合協議会	100,000

イ 物品預託・払出

○預託件数 1 件

預 託 者	預託物品	払 出 先
森下 雅三	米 300kg	子ども食堂、区社協（フードパントリー）、 地域活動（ふれあい喫茶、会食等）

（７）助成事業、団体支援等

ア 福祉ボランティア活動応援資金

- ・絵本の会天王寺
- ・天王寺おはなし「ぼちぼち」
- ・ボランティアグループアネモス文庫
- ・みんなで学ぶ教室
- ・ボランティアグループあい

イ 福祉活動支援事業・青少年育成団体等への支援の実施

- ・区青少年指導員連絡協議会との協力

ウ 身体障害者等福祉対策事業

- ・区身体障害者団体協議会との協力

エ 青少年福祉対策事業

- ・天王寺区二十歳のつどい実行委員会への参画

オ 精神保健福祉事業

- ・精神障がい者関係団体との協力
- ・NPO法人「精神障害者支援の会ヒット」むつみ工房、ゆめくらぶ、あしすとの運営委員会へ運営委員として出席

カ その他福祉団体事業の助成

- ・区更生保護女性会（犯罪予防活動・研修活動）
- ・区食生活改善推進員協議会（講習会等）
- ・区青少年指導員連絡協議会
- ・区子ども会育成連合協議会
- ・区社会を明るくする運動実施委員会
- ・区体育厚生・スポーツ推進協議会（スポーツフェスタ等）
- ・区二十歳のつどい実行委員会

- キ 地域活動リスタート応援資金
9 地区社会福祉協議会への助成

(8) 社会福祉法人大阪府共同募金会 天王寺地区募金会事務局

ア 理事会（役員会） 5/18 9/11

イ 配分金の配分内訳（配分金合計 1,481,049 円）

- ・地区社協への助成 888,200 円
- ・高齢者食事サービス委員会への助成 180,000 円
- ・区社会福祉協議会活動助成 412,849 円
（活動内容：高齢者月間事業（百歳訪問）・ゆうあいだより発行など）



ウ 周知・啓発・街頭募金活動

- ・9/11 区地域振興会連合町会長会議において協力依頼
- ・9/12 小学校校長会議で、各校に共同募金周知用壁新聞の掲示依頼
- ・9/19 区民生委員児童委員協議会地区委員長会において協力依頼
- ・7/31 ゆうあいだより No. 73 記事掲載
- ・10/2 街頭募金活動（近鉄大阪上本町駅からユフラ広場付近周辺）
- ・10/3 街頭募金活動（近鉄大阪上本町駅からユフラ広場付近周辺）
- ・10/21 街頭募金活動（四天王寺境内）
- ・10/31 ゆうあいだより No. 74 記事掲載
- ・1/31 ゆうあいだより No. 75 記事掲載

エ ガチャ募金活動

ゆうあい玄関や地域のイベント等で天王寺動物園とのコラボによるガチャ募金を実施。（以下実績個数）

- ・10/15～12/28 ゆうあい玄関前 39 個
- ・10/15 天王寺区民まつり 58 個
- ・10/29 大江まつり 32 個
- ・11/3 真田山カーニバル 44 個
- ・11/23 ゆうあいフェスティバル 11 個
- ・12/10 東上町イルミネーション 15 個



(9) 日本赤十字社大阪府支部 天王寺地区事業の金銭管理の支援

- ア 社資の受付と送金に関する事務：社資の受付後、随時日赤大阪府支部に送金
- イ 地区区分交付金に関する事務
- ウ 収支伝票の作成及び管理簿への記載
- エ 会計処理

(10) あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

相談件数 1,384件	認知症高齢者	815件
	知的障がい者	180件
	精神障がい者	378件
	その他（重複障がい、高次脳機能障がい）	11件
委託契約件数 20件	認知症高齢者	12件
	知的障がい者	2件
	精神障がい者	6件
	その他（重複障がい、高次脳機能障がい）	0件

◆事業周知

- ・4/21 担当学会にてパンフレットを配布
- ・5/31 グループホームにてパンフレットを配布
- ・6/29 大阪国際福祉専門学校にてパンフレットを配布
- ・6/30 サロンボランティア連絡会にてパンフレットを配布
- ・8/31 見守り協力者・サロンボランティア合同研修会にてパンフレットを配布
- ・9/8 地域福祉映画会にてパンフレットを配布
- ・10/7 みんなの健康展にてパンフレットを配布
- ・11/21 自立支援協議会子ども部会にて事業説明
- ・12/28 ケアプランセンターにてパンフレットを配布
- ・12/28 大手前病院にてパンフレットを配布
- ・1/13 味原地域ふれあい喫茶にて事業説明
- ・1/18 生魂地域食事サービスにて事業説明
- ・1/31 ゆうあいだより No.75 記事掲載
- ・2/2 気づけるランドにてパンフレットを配布
- ・2/8 事例検証会議にて事業説明
- ・2/19 地域包括支援センター運営協議会にて事業説明
- ・2/22 見守りボランティア連絡会にてパンフレットを配布
- ・3/19 法定外研修にて事業説明

(11) 生活福祉資金貸付事務事業

自立支援策として低所得者、障がい者、高齢者世帯に対し資金の貸し付けと必要な相談支援を行う生活福祉資金制度の受付窓口業務を平成26年4月から実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、収入が減少・失業した方がいる世帯を対象とする特例貸付の申込み受付を、令和2年3月から開始し、令和4年9月をもって終了した。

特例貸付の終了と並行して、住民税非課税世帯については、償還免除となったが、その他の世帯で、なお生活に困窮し、償還不能な世帯に対して、償還を1年間猶予する処置がとられ、令和4年12月からその申請の受付を開始した。

また、令和５年７月からは、償還猶予世帯に対するフォローアップ支援を開始した。令和６年１月から、猶予後償還が再開する世帯に対して、生活状況をヒアリングし、償還不能な世帯については、免除の意見書を作成した。

ア 生活福祉資金

・相談件数

電話 ４０件、窓口 ３２件 申込書配布 １３件、自立相談との情報共有 １９件

・償還等の対応件数

電話 １件、窓口 １件

イ 緊急小口資金：本則

電話 ４９件、窓口 ４５件、申込書配付 １０件、自立相談との情報共有 ５６件

・償還等の対応件数

電話 ６件、窓口 ０件

ウ 教育支援資金：本則

・相談件数

電話 １９件、窓口 ２７件、申込書配付 ５件、自立相談との情報共有 ２件

・償還等の対応件数

電話 ８件、窓口 １件

エ 総合支援資金

・相談件数

電話 ７件、窓口 ６件、申込書配付 ０件、自立相談との情報共有 １件

・償還等の対応件数

電話 ０件、窓口 １件

オ 新型コロナウイルス感染症特例

・相談件数

電話 ２０５件、窓口 １７６件 その他 ４件

・意見書作成

償還猶予 ６１件、免除申請 １０件

・自立相談支援機関への連携

５件

・自立相談支援機関からの相談

５件

(12) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

ア 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

【見守り相談室】

地域に埋もれた要援護者を把握し、地域の見守りや適切な支援につなげるとともに、孤立世帯への支援や、地域の支え合いを強化し、安心して暮らせるまちづくりを目的とした3つの機能を持つ。

・機能①『要援護者名簿にかかる同意確認と地域の見守り活動への支援』

行政と地域が把握する要援護者情報を集約し、地域等への情報提供にかかる本人同意の確認(郵送または訪問)を行うとともに、地域の見守り活動支援等につなげた。また、災害時の避難支援の準備にも役立てるため、防災検討会への参画及び区との連携強化を図った。区と協働し安心安全ミニカードの作成を行った。

◆新規対象者への同意確認書類の発送

(高 齢) 要介護3以上または要介護2以下で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上

(障がい1) 身体障がい者1・2級

(障がい2) 知的障がい者(療育手帳A)、精神障がい者1級、視覚・聴覚障がい3・4級、音声・言語機能障がい3級、肢体不自由3級、難病

地区名	発 送 日	発 送 数				計	同意者数
		高齢者	障がい1	障がい2	難病		
天王寺	4月3日	28	2	3	0	33	20
	10月25日	22	1	2	0	25	14
大 江	4月3日	28	6	0	0	34	14
	10月25日	27	4	1	1	33	12
聖 和	4月3日	34	3	1	0	38	18
	10月25日	21	5	0	0	26	14
五 条	4月3日	25	1	2	0	28	16
	10月25日	22	5	0	1	28	13
桃 丘	4月3日	18	3	0	0	21	14
	10月25日	16	0	2	0	18	8
生 魂	4月3日	10	3	1	0	14	4
	10月25日	18	5	0	0	23	6
桃 陽	4月3日	26	6	2	0	34	19
	10月25日	31	4	3	0	38	15
味 原	4月3日	15	1	3	0	19	13
	10月25日	17	3	2	0	22	8
真田山	4月3日	44	3	4	0	51	24
	10月25日	48	8	1	0	57	26
合 計		450	63	27	2	542	258

◆各地域団体等への要援護者地域提供リスト件数

地域団体等への情報提供にかかる本人同意を得た対象者の名簿を作成し提供した。

地区名	提 供 団 体	件 数
天王寺	天王寺連合振興町会・天王寺地区社会福祉協議会 天王寺地区民生委員児童委員協議会	152人
大江	大江ふれあい協議会・大江地区民生委員児童委員協議会	212人
聖和	聖和連合振興町会・聖和地区民生委員児童委員協議会	239人
五条	五条地域活動協議会・五条地区民生委員児童委員協議会	158人
桃丘	桃丘地域活動協議会・桃丘地区民生委員児童委員協議会	114人
生魂	生魂地域活動協議会・生魂地区民生委員児童委員協議会	130人
桃陽	桃陽連合振興町会・桃陽地区民生委員児童委員協議会	214人
味原	味原地域総括会・味原地区民生委員児童委員協議会	143人
真田山	真田山地域活動協議会・真田山地区民生委員児童委員協議会	287人

合計 1,649人

・機能②『孤立世帯への専門的対応』

孤立死リスクの高い要援護者（セルフネグレクト等）で地域から孤立、福祉サービスの利用を拒否される方に対して訪問し適切な支援へとつなげた。

○相談件数：2,637 件 相談実人数：775 名（男 272 名、女 499 名、不明 4 名）

○地域別ケア会議・地域民生委員連絡会・自立支援協議会・ケース会議・生活支援グループ連絡会等の参加：40 件

属 性	要支援・要介護 の高齢者	要支援・要介護 以外の高齢者	身体障がい者・ 児	知的障がい者・ 児	精神障がい者・ 児	発達障がい者・ 児
	284	439	28	2	6	1
	生活困窮者	難 病	子育て中の 保護者	その他		
	7	1	1	6		

・機能③『認知症高齢者等行方不明時の早期発見』

行方不明の恐れのある方等を事前に登録し、登録者が行方不明になった時、その方の氏名・特徴等を区内協力者にメールで情報を配信し、早期発見・保護につなげた。（※但し、休日夜間は夜間事業者対応）

○天王寺区行方不明発生状況 見守りメール配信：3 件

○事前登録者数：62 名（男 23 名・女 39 名） ※令和 6 年 3 月末現在

○令和 5 年度新規事前登録者数：19 名（男 6 名・女 13 名）

○協力者数：107 件

協力者 内訳	事業受託機関	介護保険関係団体	民生委員・児童委員	薬局	その他
	9	20	55	5	18

○警察からの情報提供：32 件（要援護者名簿登録者：8 件 その他：24 件）
情報提供により、状況確認し機能③登録勧奨及び適切な支援につなげた。

◆『見守り協力者連絡会・サロンボランティア連絡会 合同研修会』の開催

第一部「地域での孤立に気づき、つながり、つなげ、見守る人材を養成する研修」
第二部「失敗はためになる！やりとげ体操&レク」を実施。地域活動者同士の連携や情報交換を図るとともに、認知症高齢者を含む地域での見守りと支え合いについての理解を深めた。

開催日時：令和5年8月31日（木）

14：00～16：00

場 所：天王寺区役所 講堂

参加者数：49名



◆「見守り活動ワークショップ」の開催

要援護者名簿と独居見守り対象者名簿を活用し、マッピングを行った。また、対象者の把握と地域で気になる方についての情報共有を行い、地域課題について話し合った。

地域名	開催日	場 所	参加人数
天王寺	令和5年10月27日	天王寺連合会館	15人
真田山	令和5年11月8日	真田山プール会議室	25人



イ 区独自事業『独居高齢者等見守りサポーター事業』

区内の75歳以上の独居または高齢者世帯への、ボランティアによる月1回程度の見守り訪問事業の事務局を担っている。

対象者：75歳以上の独居の世帯または75歳以上の方のみで構成される世帯で、見守りを希望及び公的サービス（介護保険サービス等）を利用されていない方。

※R5年度（4月2日～翌年4月1日）に75歳または80歳となられ、事業対象者となる方に、郵送にて見守り希望の同意確認を実施。

（業務内容）

- ・ 郵送での希望確認及び訪問面談にて、地域別名簿の作成
- ・ 各地域ボランティアリーダー活動報告書の集約および報酬事務等
- ・ 各地域ボランティア訪問記録票のとりまとめおよび相談対応、助言等
- ・ 区との連絡調整等事務処理
- ・ C S Wによる対象者への見守り訪問、要援護者へのアウトリーチ

訪問対象者数：338人(309世帯)

※令和6年3月末現在

地域名	天王寺	大 江	聖 和	五 条	桃 丘	生 魂	桃 陽	味 原	真田山	計
人 数	27	41	61	30	27	25	62	23	42	338
世 帯 数	26	37	54	27	25	22	58	21	39	309

○地域ボランティアとの情報共有及び対象者の状況確認を行い関係機関との連携を図った。

◆『ボランティアリーダー連絡会』『見守りボランティア連絡会』の開催

独居高齢者等見守りボランティアリーダーおよび見守りボランティアと情報交換を行い、日頃の見守り活動での課題やお互いの活動についての情報共有を深め、今後の活動に役立てるため機会とした。



地域名	開 催 日	場 所	参加人数	備考
桃陽	令和5年8月22日	桃陽会館	19人	
大江	令和5年11月16日	ゆうあい	16人	
ボランティア リーダー連絡会	令和5年12月13日	ゆうあい	19人	研修会 「地域で消費者トラブルから高齢者を守るためにできること」 講師：大阪市消費者センター
見守り ボランティア 連絡会	令和6年2月22日	天王寺区役所	39人	研修会 「認知症や精神疾患について」 講師：桃丘ボランティアリーダー岸本和子氏
桃陽	令和6年3月22日	桃陽会館	16人	
桃丘	毎月（8月と2月を除く）	桃丘会館	8～9人	民生委員連絡会にて

◆戸別訪問

勝三南町会の町会長、地区民生委員、包括、相談室とで同行し、町会内の要援護者名簿登載者と独居高齢者を訪問。名簿情報の更新と現状確認、相談窓口の案内を行った（11月1日、3月6日実施）

ウ その他

- ・自立支援協議会こども部会、居宅事業所連絡会にて事業説明を行った。
- ・区内マンション16か所にアウトリーチを行い、管理人への事業周知を実施、相談しやすい関係づくりに努めた。
- ・各地域のふれあい喫茶や食事サービスにて、事業周知とアウトリーチを行った。

(13) 生活支援体制整備事業

今後さらに増加する高齢者の生活課題と必要な支援に応えるため、住民主体の取り組みを始め、ボランティアやNPO、民間企業など、多様な事業主体による生活支援・介護予防のための取り組み及び提供体制の構築を支援している。

ア ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

- ・高齢者の生活ニーズや地域資源の把握

地域が行うサロン活動等へ積極的に出向き、高齢者のニーズ等をヒアリングするとともに、包括・ブランチ連絡会議、地域別ケア会議、事例検証会議等専門職が集う場にも出席し、区内の高齢者の生活課題や地域資源を共有した。また、収集した情報を基に「天王寺区版つながり情報誌」を発行した。



- ・協議体会議・ワーキングの設置

8/8 に区役所・地域包括支援センター・老人福祉センターとともに第1回協議体会議を開催し、高齢者を取り巻く状況や地域資源やサービスの現状について共有するとともに、事業の方針について意見交換を行った。10/4 に開催した第2回協議体から、新たに地域、区訪問看護ステーション連絡会、区理学療法士会から参画いただき、協議体に置いて幅広い意見交換が出来るよう再構築を行った。

また、協議体のワーキングとして、地域ボランティアをはじめ、高齢者に関わる関係団体や企業などが集まり、どのような活動・居場所があれば、高齢者にとってより住みやすいまちになるのかについて情報交換や検討を行う「つながり情報交換会」を開催している。本年度は11/10、2/2 に開催し、本事業にて作成した「天王寺区版地域の情報誌」を用い、活動内容・掲載内容などについて意見交換し、参加された地域や各種団体、企業との連携のきっかけとなった。



その他、「男性のセカンドライフを考える会」を逐次実施した。

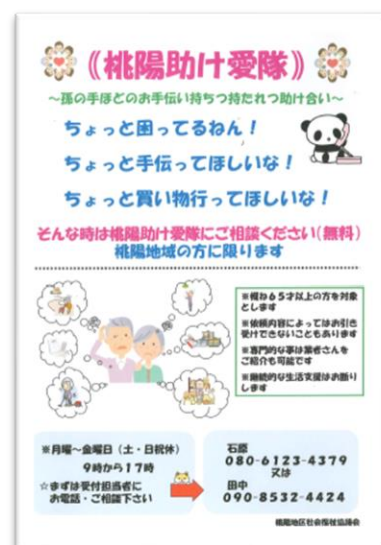
イ 地域資源・サービスの開発等

- ・「昭和男の体操教室」への支援

男性の高齢者が集う場が少ないことから、令和元年度に「男性のセカンドライフを考える会」を立ち上げ、そこから新たな居場所として「昭和男の体操教室」ができた。令和4年度からは、老人福祉センターのサークル活動に登録しメンバーによる自主運営が行われることとなったが、居宅介護支援事業所連絡会などの関係機関への周知や、認知症カフェのイベントでタオル体操の講師役を依頼するなど、引き続き男性高齢者の活動を引き続き支援している。

- ・生活支援サービスの創出

桃陽地域において、比較的元気な人でも、「家具移動や電球交換等の力仕事」などのちょっとした



困りごとがある人が多いことを把握し、地域住民と話し合いを重ね、令和5年4月から「桃陽助け愛隊」として、新たな地域の助け合い活動の立上げに至った。その後は定期的に活動依頼や困難事例の有無など活動にあたっての相談、報告など後方支援を行っている。

- ・大江逢阪クラブ百歳体操

地理的に地域の会館から遠方にある老人クラブである大江逢阪クラブが主体で月1回開催。参加者自身の活躍の場となるよう機器の操作説明やプログラムの提案など継続的に後方支援を行っている。

- ・藤次寺を活用した百歳体操の場づくり（生魂地域）

お寺のスペースを活用した高齢者の集いの場を立ち上げたいという相談を受け、具体的な活動内容や計画を決定し、区との連絡調整を行うなど準備を重ね、百歳体操が5月から立ち上がった。大きな横断歩道や交差点があるため地域の会館に通いにくい人にとって、地域を限定せずに介護予防の集いに参加頂けると考え、周知の相談、支援を行っている。

- ・市営住宅集会所を活用した百歳体操の場づくり（勝三住宅）

令和4年11月から市営住宅の集会所を活用した集いの場として百歳体操を概ね毎週開催することができた。プロジェクターの操作や運営補助の後方支援に加え、生活支援体制整備事業冊子「つながりお届け便 Vol.7」に活動を掲載し、参加者の活動意欲の向上につなげた。

- ・まちの保健室（長願寺）

地域別ケア会議などで地域には独居高齢者の居場所が少ないとの課題を受け、お寺のスペースを活用して地域貢献をしたいという相談があり、活動内容や方針について検討を重ね、8月から開催することができた。周知、運営補助、人員の調整などの支援を継続している。

- ・Zoom の集い開催

令和3年に開催した「60代から始める！Zoom 講習会」の受講者のうち、今後も Zoom を活用していきたい有志のメンバーが集まり、プロジェクト会議、Zoom の集いそれぞれ概ね月1回の定例会を開催している。6月には区役所保健師による健康に関する出前講座を Zoom で受講するなど、Zoom を活用したあらたな可能性を感じていただき、自発的にスキルアップを図る状況へ支援を継続している。

ウ 活動の場の発掘・開発

高齢者が活躍できる場面をつくるため、ボランティア活動への参加や養成講座への案内を積極的に行った。とりわけ各地域で開催されているインクルーシブスポーツのボッチャの審判員の養成講座や大規模災害発生時に地元のボランティアとして活躍することができるよう災害ボランティアセンター運営支援者養成講座を開催した。また認知症サポーター養成講座を開催し、地域共生社会を目指すにあたり必要不可欠な認知症の理解や、支え合うボランティア活動の場を発掘することで社会参加の場を創出した。

エ サービス実施情報の周知等

- ・生活支援体制整備事業通信「つながりお届け便」をリニューアル発行（Vol.7、8）
 - ・発行日 R5. 2月（Vol.7）
R5. 3月（Vol.8）
 - ・発行部数 各2,500部
- 生活支援体制整備事業の役割・活動を記載した通信を作成し、配布した。



（１４）生活困窮者自立相談支援事業

経済的困窮はもとより就労や家族問題など、生活に課題を抱える方への相談窓口を、（社福）大阪自彊館との共同体で平成27年度より受託。

区役所4階に開設している「サポート天王寺」を相談窓口とし、対応が困難で多岐に渡る相談に丁寧に応じている。

ア 男女別内訳 新規相談受付件数（233件）

性別	男	115	女	118	不明	0
----	---	-----	---	-----	----	---

イ 年齢内訳

年齢別内訳	0 ～ 10代	6
	20代	32
	30代	36
	40代	41
	50代	42
	60～64歳	12
	65歳以上	44
	不明	20

ウ 相談経路（重複あり）

新規相談経路	本人（来所）	195
	本人（電話・メール）	33
	家族・知人（来所）	32
	家族・知人（電話・メール）	2
	自立相談支援機関が把握	0
	関係機関・関係者紹介	12
	その他	4

エ 相談受付内容（重複あり）

相談内容	件数	比率(%)	相談内容	件数	比率(%)
経済的困窮	155	66.5	社会的孤立（ニート・ひきこもり含む）・不登校	11	4.7
病気や健康、障害のこと	157	67.5	介護のこと	12	5.2
仕事探し、就職について	39	16.7	子育てのこと	28	12.0
住まいについて	46	19.7	生活習慣の乱れ	1	0.4
家族との関係について	47	20.2	DV・虐待	5	2.1
ひとり親	18	7.7	コミュニケーションが苦手、本人の能力の課題	15	6.4
家計管理のこと	13	5.6	外国籍	12	5.2
債務について	28	12.0	その他	17	7.3

オ 相談状況について

- ・新規相談件数は、前年度比 88.5%であるが、新型コロナ流行前の令和元年度よりは多い件数となっている。
- ・総括すると、「病気や健康、障がいのこと」に関する相談が 67.5%、「経済的困窮」の相談が 66.5%と高くなっている。また、「外国籍」の方の相談が増えている。その内容については多岐にわたる悩みを抱えているケースが多く、約 8 割の世帯が複数の課題を抱えているため、幅広い支援が求められている。
- ・食糧支援について、生活保護からの保護費支給までの繋ぎとしての依頼が多い。基本的に食糧支援のみでは対応していないが、相談対応の中で支援の必要性を感じた場合には食料を提供している。

(15) 老人福祉センター事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業含む）

<利用状況>

コロナ感染症対策については、利用者のご要望も踏まえ「高齢者が集う施設」であることを鑑み令和5年度も継続した上で、下記事業を実施

年間利用者数 17,612人 （内訳 男性6,628人、女性10,984人）

<事業内容>

ア 生きがいづくり活動

- ・「英会話」「中国語会話」「合同作品展」「スマホ講座」「自分らしさを大切にする生き方講座」等の、生きがいづくり、及び高齢者ニーズに応じた講座や事業を実施し、参加を促進
- ・活動する25サークルの支援として、教養の向上・趣味・仲間づくりの場を提供し安定した活動を支援。

イ 高齢者の自主的な地域福祉活動支援

- ・高齢男性限定の「昭和男の体操教室」・「男性のセカンドライフを考える会」と情報共有し、参加者自ら地域で実施される認知症・介護予防のためのモルックの大会や「天王寺歩こう会」等へのボランティア活動に参加

ウ 健康づくりと介護予防の促進

- ・「いきいき百歳体操」「すこやかシニア体操」「タオル体操教室」「楽しい手話体操教室」「健康セミナー」「フラダンス体験教室」「天王寺歩こう会」等の健康・体力づくり事業や講座、及び「知って安心認知症講座」「押し花で小物作り体験教室」「楽しい音楽療法体験教室」等の認知症・介護予防講座を開催

エ 相談・情報提供機能の充実

- ・高齢者からの相談には職員が対応し、不明・対応困難な場合は館長が対応
- ・情報提供では、センターだよりで1,870部を発行・配布し、講座や行事予定を広報。ホームページでも同様の内容を掲載。区の広報紙では講座を広報

オ 老人クラブ活動支援

- ・「合同作品展」「グラウンドゴルフ大会」等、老人クラブと連携し合同開催
また、「センターだより」にて老人クラブ活動の紹介や老人クラブ未加入の高齢者の加入を促進協力

3 公益事業・介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、要介護の方のご希望や心身の状態に応じた適切なサービスの提案や利用調整、ケアプラン作成を行い、安心してご自宅で生活を送れるように支援を実施。

年間ケアプラン作成数：要介護 7 6 7 件、要支援 4 6 . 5 件(1ケース0.5換算)

契約利用者数：要介護 6 8 件、要支援 9 件（令和6年3月末日時点）

(2) 地域包括支援センター事業

ア 包括的支援 4 事業

1. 総合相談支援

高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談を総合的に受けるとともに、必要に応じて訪問し実態把握を行い、必要な支援やサービスにつなげる。

(ア) 包括の相談件数

総合 相談	項 目	件 数
	訪問・出張による相談	1, 7 9 2
	電話による相談	8, 4 3 4
	来所による相談	5 9 1
	その他による相談 メール等	5 6 5
	延べ相談件数 ※延べ件数のうち、認知症疑いのある方の人数	1 1, 3 8 2 ※ 2, 9 9 6
	相談実人数	1, 2 3 7
相談 内容	① 介護サービスに関すること	4, 8 6 7
	② 介護予防サービスに関すること	2, 2 8 3
	③ 経済・生活問題	1, 5 8 4
	④ 保健・医療サービスに関すること	7 7 9
	⑤ その他	4 8 6
	⑥ 福祉サービスに関すること	3 6 6
	⑦ 虐待に関すること	2 7 0
	⑧ 介護予防事業・日常生活支援総合事業に関すること	2 4 1
	⑨ 家族・家庭問題	2 1 1
	⑩ 成年後見制度の活用に関すること	2 1 0
	⑪ 生きがいづくり	8 5
	延べ相談件数	1 1, 3 8 2

(イ) 地域交流の場での総合相談の実施や啓発活動

- ・ 9 地域の配食サービスやふれあい喫茶、小宮ふれあい広場、生魂ボッチャ、まちの保健室、おきらく体操、昭和男のロマン喫茶等出張相談等を実施。
出張相談件数 3 9 5 件（前年比 5.3 倍）
- ・ 協力医療機関(新型コロナウイルスワクチン接種会場)での啓発物の配布
- ・ 窓口にて案内板設置による啓発活動
（特殊詐欺被害の現状、電気高騰給付、市民医学講座、ダブルケアや福祉に関する映画等）

(ウ) マンション等での周知活動

- ・高齢者が多いと思われるマンション管理人等に周知協力を依頼し65ヶ所のマンションで掲示やポスティング(3,831戸)を実施
- ・UR住宅居住者に配布される送付物に、チラシを26部提供する

2. 権利擁護業務

高齢者虐待の早期発見・防止、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のために医療や介護関係者、地域住民に対し、啓発活動や勉強会などを実施。

(ア) 高齢者虐待受理件数21件(うち包括の受理4件、虐待判断件数5件)
サービス利用調整会議 50回 参加

(イ) 成年後見受理件数 13件(専門職派遣 2件)

(ウ) 介護保険事業者向けあんしんさぼーと事業や成年後見制度に関する研修会

- ・日及び人数 令和6年3月19日 35名
- ・講師 あんしんさぼーと事業担当者及び区保健福祉センター担当係長

(エ) 介護保険事業者向け高齢者虐待研修会

- ・日及び人数 令和5年11月13日 72名
- ・内容及び講師 障がい者・高齢者虐待防止の観点から見た8050問題
(一社)こもれび・ゼロひゃく相談支援センター 水流添真

(オ) 区老人クラブ連合会での高齢者虐待防止に関する記事掲載

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

関係機関と連携推進や介護支援専門員等を支援するため会議などを開催。

(ア) 会議開催状況・地域ケア会議の開催回数

地域ケア会議(個別ケース検討)	25回
地域ケア会議(地域別ケア会議)	22回
地域ケア会議(事例検証会議)	2回
地域ケア会議(見えてきた課題対応のための会議)	7回
包括・ブランチ連絡会議の開催	12回
地域密着型サービス運営推進会議への参加	31回
その他ネットワーク構築のための会議の開催・参加	328回
区地域包括支援センター運営協議会への参加	3回
サービス利用調整会議	50回
地域等との関係づくり	349回

(イ) 包括的・継続的ケアマネジメント

介護支援専門員個別相談件数	2,066件
居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加	18回
介護支援専門員への研修会の開催支援	6回

(ウ) 各会議の概要(抜粋)

① “地域別ケア会議” の具体的な取り組み

区内各地域で会議を順次開催して、高齢者支援に携わる地域支援者と関係者で、高齢者の生活・支援状況の共有、高齢者支援の課題の確認や解決方法の検討、顔の見える関係づくりを行い、高齢者や住民が安心して生活できる地域づくりを支援する。

○桃陽地域「桃陽地域別ケア会議」定例6回、打合せ6回

定例会の開催概要

・日及び参加人数

日 時	参加人数	日 時	参加人数
令和5年4月19日	24名	令和5年10月18日	23名
令和5年6月21日	25名	令和5年12月20日	24名
令和5年8月28日	24名	令和6年2月21日	29名

- ・参加者 地域（民生委員、主任児童委員、連合町会役員）、区保健福祉課、区社協（生活支援、見守り相談室、地域支援、包括）、ランチ、薬剤師
- ・テーマ 新たな地域支援者を育てるための啓発活動や桃陽お助け愛隊の進捗状況について
- ・内 容 地域活動や各事業担当者からの報告や案内等

***今年度の取り組み（見えてきた課題に対する取り組み）**

桃陽小学校PTA実行委員会にて“わがまち桃陽再発見”レターの視聴、アンケート実施

- ・内容 独居の方や家族への早期支援や地域活動の担い手発掘のため『町会や民生委員の活動を伝える“わがまち再発見レターDVD”』を視聴。
- ・アンケート結果（回答数28）※一部抜粋
DVDの感想：とてもよかった29%、よかった71%
地域や民生委員の活動について：知っていた・多少知っていた43%

桃陽小学校6年生の授業「桃陽地域の地域活動について」

- ・日及び人数 令和5年10月13日38名、令和5年11月10日32名
令和5年11月10日36名
- ・参加者 生徒、学校関係者、連合町会長、民生委員長等地域関係者、包括、区保健福祉課
- ・内 容 “わがまち再発見レターDVDの視聴及び地域活動について質疑応答

桃陽小学校6年生の授業「未来の桃陽地域についてプレゼン発表」

- ・日及び人数 令和5年11月28日35名、令和5年12月18日30名
令和5年12月18日 28名
- ・参加者 生徒、学校関係者、連合町会長、民生委員長等地域関係者、包括、生活支援コーディネーター、区保健福祉課
- ・内 容 小学生がグループに分かれて、a. 桃陽地域の課題・現状、b. 期待する未来の桃陽、c. 取組みの提案について発表

桃陽地域別ケア会議テーマ「子供たちと一緒に地域で何ができるか」

- ・日及び人数 令和6年2月21日 29名
- ・参加者 地域別ケア会議の参加者に加えて青少年指導員、桃陽小学校（校長、教務主任）
- ・内 容 桃陽小学校で発表されたプレゼン内容の説明及び意見交換

○桃丘地域「桃丘地域別ケア会議」 定例会2回、事前説明・打合せ5回

- ・日及び人数 令和5年8月25日 21名、令和6年2月9日 20名
- ・テーマ 地域活動の詳細を共有し地域特性を生かした支援につなげる
- ・内 容 地域の活動について紹介及び意見交換
- ・参加者 町会長、民生委員、主任児童委員、老人会、歯科医師会、薬剤師会、区保健福祉課、区社協（見守り相談室、地域支援、包括）、ランチ

○天王寺地域「天王寺地域ケアネット委員会」 定例2回 打合せ2回

- ・日及び人数 令和5年6月23日17名、令和5年12月8日10名
- ・内 容 民生委員の業務と相談関係機関や、見守り活動ワークショップから挙げた課題を踏まえ、マンションへの周知活動実績及び意見交換
- ・参加者 地域（連合会長、高齢者食事サービス委員長、福祉相談員、地区ボランティアリーダー、主任児童委員、民生委員）、区保健福祉課、区社協（地域支援、オレンジ、包括）

○生魂地域「生魂地域民生委員連絡会」定例2回 打合せ1回

- ・日及び人数 令和5年11月14日16名、令和6年3月13日18名
- ・内 容 かかりつけ薬局やマンションへの周知活動共有、身近な社会資源（ちーむオレンジ登録したサロン生魂、まちの保健室）について
- ・参加者 地域（民生委員、主任児童委員）、薬剤師会、区保健福祉課、区社協（見守り相談室、包括）ランチ

○五条地域「五条地域民生委員連絡会」分会2回、コアメンバー1回

＊民生委員の勉強会として開催

- ・日及び人数 令和6年1月11日 15名
- ・内 容 課題対応取り組みで作成した“まるごと早わかりファイル”を活用し、事例をもとに相談窓口の紹介を行う
- ・参加者 地域（民生委員・主任児童委員）、区保健福祉課、サポート天王寺区社協（生活支援コーディネーター、包括）ランチ

＊町会長や女性部長を対象に開催

- ・日及び人数 令和6年1月23日 18名
- ・内 容 民生委員勉強会の報告、“まるごと早わかりファイル”の追加資料の提供等
- ・参加者 地域（民生委員長、町会長、社協会長、女性部長）、包括

○大江地域 地域別ケア会議 定例2回、打合せ1回

- ・日及び人数 令和5年11月7日15名、令和6年2月28日20名
- ・内 容 かかりつけ薬局の機能、地域の見守りにより社会資源につながった事例紹介及び社会資源についてグループワーク
- ・参加者 民生委員・主任児童委員、区保健福祉課、区社協（生活支援コーディネーター、見守り相談室、オレンジ、包括）

○聖和地域 地域別ケア会議 分会2回 打合せ1回

＊町会長を対象に開催

- ・日及び人数 令和5年11月25日 16名
- ・参加者 町会長、薬剤師会、区保健福祉課、区社協（見守り相談室、包括）

＊民生委員を対象に開催

- ・日及び人数 令和6年2月13日 13名
- ・内 容 地域で気になる方の見守り訪問の報告、かかりつけ薬局の機能、質疑応答
- ・参加者 民生委員、主任児童員、薬剤師会、区保健福祉課、区社協（見守り相談室、包括）

○真田山地域 地域別ケア会議 定例会2回 打合せ2回

- ・日及び人数 令和5年7月5日 22名
- ・テーマ 常時から認知症の理解を深めるには～認知症の啓発方法
- ・内 容 認知症課題について意見交換
- ・参加者 地域（民生委員・主任児童委員）、区保健福祉課、オレンジ、包括、ブランチ

＊今年度の取り組み（見えてきた課題に対する取り組み）

認知症に関するアンケート実施

- ・実施場所 真田山カーニバルイベント会場
- ・アンケート回答者 130名

認知症の理解を深めるための勉強会

- ・日及び人数 令和6年2月7日 18名
- ・内 容 認知症地域支援推進員による勉強会を開催
- ・参加者 地域（民生委員・主任児童委員、社協会長）、区保健福祉課、区社協（地域支援、包括）ブランチ

○味原地域別ケア会議

- ・日及び人数 令和5年12月5日 9名
- ・内 容 地域ケア個別会議から見えてきた課題の報告、相談窓口や認知症の周知啓発について意見交換
- ・参加者 民生委員長、歯科医師会、薬剤師会、区保健福祉課、区社協（地域支援、包括）、ブランチ

②事例検証会議の開催

支援課題のあるケース検討の場「地域ケア個別会議」や、要支援1・2の人の自立支援のための検討の場「自立支援型ケアマネジメント検討会議」から挙げた課題をSV等より助言を受け、課題をまとめ今後の取り組みを検討する。

1回目「自立支援型ケアマネジメント検討会議」の検証会議

- ・日及び人数 令和5年9月22日 11名
- ・内 容 1年後のモニタリング報告及び見えてきた課題“食のアセスメント”や“地域の社会資源について報告、意見交換
- ・講師/助言者 森ノ宮医療大学松下太先生/医師会、理学療法士会
- ・参加者 居宅介護支援事業者、区保健福祉課、生活支援 Co、包括、ランチ

2回目「地域ケア個別会議」の検証会議

- ・日及び人数 令和6年2月8日 15名
- ・内 容 令和5年度地域ケア個別会議の集計結果及び住宅課題や金銭課題のある認知症ケースについて意見交換
- ・講師/助言者 関西福祉科学大学橋本有理子先生/医師会、歯科医師会、薬剤師会
- ・参加者 居住支援法人、あんしんさぼーと相談員、生活支援 Co、オレンジ、区保健福祉課、包括、ランチ

③自立支援型ケアマネジメント検討会議

○会議開催回数及び事例検討数、参加者

- ・会議 年6回、事例検討数12件
- ・参加者 介護支援専門員、訪問看護、通所介護、福祉用具、助言者(医師、理学療法士)、生活支援 Co、区保健福祉課、包括

*今年度の“見えてきた課題”に対する取り組み

○自立支援型検討会議（小会議）「食に関するアセスメント」研修開催

- ・日及び人数 令和6年1月24日 23名
- ・内 容 「食に関するアセスメント」について
- ・講師/助言者 区保健福祉課 道畑真実 管理栄養士/医師会、理学療法士会
- ・参加者 居宅介護支援事業者、包括

○タオルで体操デュアルタスク版の周知活動、出前講座の開催

- ・介護予防支援業務における契約訪問時に、“タオルで体操デュアルタスク版”の案内を行い配付する。
- ・タオルで体操デュアルタスク版出前講座の開催

④その他、介護事業者のスキルアップや多職種連携のための取り組み

○感染症(結核/HIV等)に関する講座

- ・日/人数 令和5年5月17日 36名
- ・内 容 高齢者結核の特徴やHIV感染症の理解
- ・講 師 大阪市保健所 感染症対策課 浅野瑞穂、宇野伽那子
- ・参加者 居宅介護支援事業者、訪問介護、オレンジ、包括、ランチ

○合同防災検討会

- ・日/人数 令和5年9月15日/38名
- ・内 容 区の被災想定や備え、個別避難計画、メーリングリスト、BCP ハザードマップの作成方法について
- ・参 加 者 居宅介護支援事業者、訪問看護、通所事業、訪問介護、包括、ランチ

① 保健福祉センター保健師との地区診断のための地域の情報交換会

- ・日/人数 包括圏域【聖和】 令和5年6月28日/9名
夕陽丘圏域【桃丘】 令和5年1月25日/13名
高津圏域【味原】 令和5年3月22日/12名
- ・内 容 保健師の活動や地域支援等の情報交換
- ・参 加 者 区保健福祉課（地域活動担当、高齢担当）、区社協（生活支援 Co 地域支援、オレンジ、包括）ランチ

4. 介護予防ケアマネジメント

介護が必要と感じた方やそのご家族等が介護保険の申請を行い、要支援の認定を受けサービス利用を希望された場合、ご本人の心身や環境、希望等を勘案したうえで状況に応じてケアマネジャーがケアプランを作成。将来、自立した日常生活が取り戻せるよう自立支援を促す。

(ア) 契約訪問時の意向確認を踏まえた社会資源の情報提供

介護支援専門員に同行し、社会資源（インフォーマル）やタオルで体操デュアルタスク版について情報提供し介護予防に役立ててもらう。

(イ) 緊急時に備えられるよう安心安全カードミニ版の配付、説明

(ウ) 介護予防ケアプラン作成件数

自包括作成件数	延べ	9 7 1 件
委託先作成件数 前年比 87.7%	延べ	3, 8 4 6 件

(エ) 第1号介護予防支援ケアプラン作成件数

自包括作成件数	延べ	9 1 1 件
委託先作成件数 前年比 89.5%	延べ	2, 3 4 7 件

(オ) 住宅改修支援事業 4 件

(カ) 新規契約件数

2 3 6 件（自包括担当 8 5 件、一部委託への依頼 1 5 1 件(前年比 72.2%)）

(キ) 相談対応件数 延べ 7, 6 4 1 件

サービス担当者会議の開催やサービス利用状況等の確認、一部委託事業者への書類の確認や助言支援、給付管理業務等を行う

イ その他

(ア) 出前講座の開催 計 3 7 回（前年比 2.7 倍）

地域の配食サービスやふれあい喫茶、老人クラブより依頼あり、タオルで体操の実施や介護保険サービスの説明、認知症に関する講座を開催。

(イ) 認知症サポーター養成講座での啓発活動 定例5回、出前4回

ウ 家族介護支援事業

(ア) 家族介護者の集い「和みの会」でのミニ講座の開催

第1回 テーマ「歌と音楽・体操・脳トレで介護予防」

・日及び人数 令和5年5月10日 17名

第2回 テーマ「高齢者の食事と栄養、誰でも作れる簡単レシピ」

・日及び人数 令和5年7月12日 14名

第3回 テーマ「自分らしく生きるための終活でしておくこと」

・日及び人数 令和5年10月11日 29名

第4回 テーマ「排泄介助の方法を学ぼう」

・日及び人数 令和6年2月14日 17名

(イ) 家族介護者の集い「和みの会」の開催支援 8回

(ウ) 家族介護者の集い「和みの会」リーフレットの作成・配布

(3) 認知症強化型地域包括支援センター事業

ア 認知症初期集中支援推進事業【認知症初期集中支援チームの業務】

(ア) 支援対象者数 30名

(イ) 会議開催・参加状況

①チーム員会議 12回

②認知症初期集中支援推進事業関係者会議

第1回 テーマ 令和4年度の活動報告及び訪問支援結果とその動向など

・日及び人数 令和5年6月26日 12名

第2回 テーマ 令和4年度の相談件数の推移と周知活動についてなど

・日及び人数 令和5年9月25日 13名

第3回 テーマ 認知症カフェ団体による活動紹介やアンケート結果報告

・日及び人数 令和5年12月18日 19名

第4回 テーマ 令和5年度事業報告・若年性認知症の支援課題について

・日及び人数 令和6年3月11日 12名

③その他会議 11回（運営協議会・地域ケア会議等）

(ウ) 広報・普及啓発活動

認知症について正しい理解を広め、早期発見・早期診断・早期対応の相談機関であることを周知する

チームの事業活動場所	啓発物	配布数
医療機関・薬局	チラシ・ポケットティッシュの設置依頼	285カ所
地域の食事サービスやふれあい喫茶等	オレンジ通信の配付	1,450枚
公営住宅や民間マンション	チラシの掲示、ポスティング	3,831枚

広報ゆうあいや天王寺区広報紙に掲載

区内の掲示板（74カ所）、大阪メトロ（区内3カ所）へのチラシ掲示

イ 認知症初期集中支援推進事業【認知症地域支援推進員の業務】

(ア) 若年性認知症ケース支援

- ・若年性認知症の鑑定診断を受けた人やその家族からの相談・18件
- ・認知症困難症例の主たる支援機関からの相談・・・・・35件

(イ) 認知症の人を支援するネットワークの構築・推進

①認知症カフェの側面的支援

○認知症カフェ連絡会の開催・支援

日/人数 令和5年8月18日 3団体/ 5名

内 容 活動状況の共有・アンケート結果報告・意見交換

○認知症カフェ普及のための認知症カフェ認知度に関するアンケートの実施

対象者/回答数 居宅介護事業者/回答数 43名

○案内チラシの改変・配布

②認知症の人が主体となる集いの場「本人交流会」の立ち上げ・開催支援

実施回数 計8回

内 容 認知症の本人や家族の交流、歌やモルックなどのイベント等

協力団体 天王寺区ロバの会

社団法人認知症の人と家族の会大阪支部「おれんじドアおおさか」

(ウ) 区内関係機関への認知症対応力向上のための支援

1. 天王寺図書館との認知症の理解普及のための協働した取組み

第1回 認知症ってなあに？本から知るほんとうの認知症 読書交流会 2

・日/人数 令和5年7月15日/11名

第2回 あつまれこどもたち！「認知症を知る」おたのしみ会

・日/人数 令和5年2月3日/13名（子供9名・保護者4名）

・内 容 おすすめ図書の紹介と参加者の意見交換会

子供向け認知症学習DVD上映・認知症に関する絵本読み聞かせ

ウ オレンジサポーター地域活動促進事業

(ア) 事業の広報・周知活動 64回

関係機関・地域・企業・団体・ゆうあいフェスティバルや地域別ケア会議等にて周知活動を行う

(イ) オレンジパートナー企業(団体)として「認知症の人にやさしい取組み」

・オレンジパートナー登録勸奨活動 16回

・オレンジパートナー企業・団体登録数 25件

(ウ) ちーむオレンジサポーター（チームオレンジ）

ステップアップ研修の開催 2回 受講者10名



4 その他

エコキャップ回収運動の推進

※ポリオワクチンで世界の多くの子どもたちの命を救おう!!!

- ・ペットボトルのキャップを集めてポリオワクチンにかえる活動に協力。
- ・平成27年度より、地域の方々から寄せられたキャップはワークセンター中授（東上町）の事業と連携を図っている。

天王寺区社会福祉協議会取り扱い分 エコキャップ 783,102 個（累計）